

アネモネ年内出荷のための定植時期と アルミ蒸着マルチが品質に及ぼす影響

福島県農業試験場会津支場

平成10・11年度春夏作試験成績概要(会津支場)

平成12・13年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

花き—その他の1・2年草—作型・栽培型

分類コード 05-26-18000000

2 担当者

江川孝二・小林祐一・浅沼顕

3 要旨

アネモネの無加温栽培において年内出荷するための定植時期やマルチ資材について検討し、以下の結果を得た。

- (1) アネモネの無加温促成栽培で年内から出荷するためには、7～8月中下旬頃までに定植することが必要で、それ以降の定植では切り花本数が減少する。
- (2) マルチ資材の比較では、アルミ蒸着マルチ区で白黒マルチ区と比べて収穫が早く始まり、年内収量も多かった。
- (3) 切り花品質は、切り花長の構成比で比較すると、アルミ蒸着マルチ区が良いと判断された。

以上のことから、アネモネの年内出荷のためには、遅くとも8月中下旬までに定植することが必要で、またアルミ蒸着マルチを使用することで収穫が早まるため年内収量が増加し、しかも品質が向上することがわかった。

4 その他の資料等

なし